



平成 27 年 12 月

杉並区立富士見丘中学校

第 8 号

学校運営協議会だより

いじめについて

学校運営協議会会長

ちよう しゅんすけ
長 俊介

(日本スクールソーシャルワーク協会会長)
(修復的対話フォーラム副理事長)



いじめの相談を本人の口から告白することは難しいことです。子どもたちは相談することによって、より周りから疎外されると思っています。1度や2度のいじめで相談することは希、つまり1回の相談の裏には何十回ものいじめがあります。だから、いじめ被害の子どもにとって相談できる人は、自分の話を真剣に受け止めてくれる人。自分のことを本当に守ってくれる人。支えてくれる人でなければなりません。いじめの現場では、厳しい上下関係ができています。大人から見れば同じくらいの子とも同士でも、当人たちの間には乗り越えられない上下の関係があります。だからこそ、大人の介入が絶対に必要だと私は思っています。みなさん、すぐ傍にいる子どもの声に耳を傾けてください。

『江戸しぐさ』から学ぶ

校長

わたなべ せんじ
渡邊 仙二



『江戸しぐさ』では、「人間」と書いて「じんかん」と読み、人と人との距離の間合いを適度に取り生活を薦めています。人付き合いをうまくやっていくためには間合いが必要です。自分は、自分だけは、とそれぞれが個人の自由のもと、無責任な行動を取ったら、社会生活は崩れてしまいます。

自由というのは、制約されたルールの上に成り立つ自発的な行動です。人間らしく生活するためには、秩序や規律を守るとともに、先人の教えや生き方から学ぶことも今の時代だからこそ必要なことだと思います。

富士見丘中学校でも江戸時代の人たちと同じように出会う人をお互いに認め、思いやりや助け合うことを心掛けていける生徒を育てていきます。

学校運営への理解と関わりを深めるために

学校運営協議会では、1年を通して「面談」を行っています。月2回の会議の前1時間が面談の時間です。

先生方、PTA役員の方々、生徒会役員生徒との面談は、さまざまな意見が聞ける場、コミュニケーションの場になっています。直接声を聞くことで、学校の様子や学年の雰囲気、保護者の思い、生徒の気持ちなど、わかることがたくさんあり、学校運営に参加するための参考になります。

また「学校運営協議会」を理解してもらい、協議会委員を知っていただく貴重な機会にもなっています。



今年も「学校生活に対する意識調査」を行いました

今年も学校運営協議会がお願いしました「学校生活に関する意識調査」にご協力いただき、ありがとうございました。

生徒、保護者、教職員の皆さんの声を反映して、コミュニティ・スクールとして指定を受けている学校の運営を見直し、より良いものを目指すための参考にしています。

調査結果は、集計・分析した上で、成果や課題を学校運営協議会で共有し、学校運営にも役立ててもらいます。

保護者の皆さんには後日、調査結果をまとめたものを公表いたします。



平成26年度学校運営協議会アンケートの結果から

「相談」できる人はいますか？

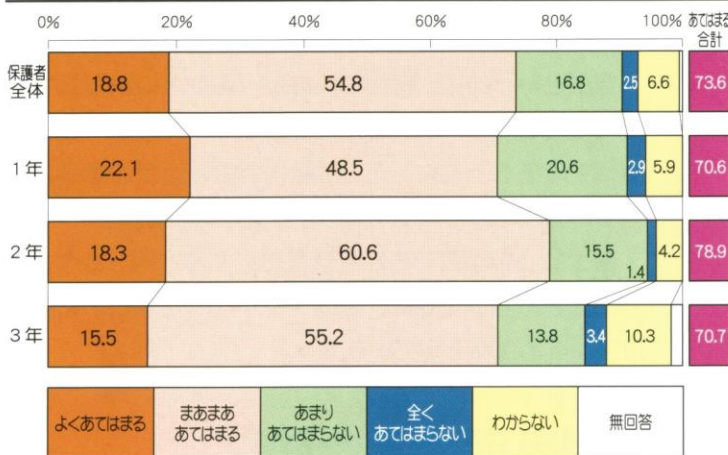
平成26年度の時の1年生から3年生、その保護者に「相談」について聞いています。学校運営協議会が毎年、皆さんの協力を得ながら実施しているものです。この中から、「悩みを打ち明けられる友達」がいるかどうかを尋ねました。

▼「悩みを打ち明けられる友達がいるか」



また、保護者の皆さんには、先生と相談しやすい雰囲気があるかどうかを聞きました。

▼「保護者が先生と相談しやすい雰囲気がある」



「とてもあてはまる」（とても相談できる・しやすい）割合は、生徒たちの方が高率でした。いろいろな悩みは早めに相談しましょう。それでもなかなか解決しないときにはどうすればいいでしょうか。

【養護 細川先生から】

この調査結果を見て、「悩みを打ち明けられる友達がいる」人が約8割いるので安心しました。「困ったときはお互い様」という助け合いの精神があったように思います。困っている人は自分から声をかけられないかもしれません。気付いた人が声をかけてあげられるといいと思います。

「相談」とは難しく、相談したら、いつも相手から回答を得られるとは限りません。簡単に「〇〇したら？」と言える問題ばかりではないからです。そして、最終的に意志決定と行動選択は自分自身なのです。しかし、相談しようと思うことで、そのことにとらわれる状態から、少しでも、離れることができることがあります。また、話をするうちに、自分自身で問題を整理できたり、アイデアが浮かぶことがあります。

富士見丘中学校では、心も身体も大きく成長し、悩み多き中学生が、何か困ったときに相談できる相手が増えるように、全校生徒を対象に学期に1回、「ふじみ面談」を実施しています。困ったことがあるときには一人で抱え込まずに、誰でもいいので、「ちょっと聞いて…」と言えるといいですね。

保護者の方にも、「相談しやすい」と思ってもらえるような学校になるように、いろいろ工夫していきたいと思います。

学校支援本部JOINTの活動の1つに授業支援があります

今年度より、毎週木曜・金曜の英語と数学の授業に、卒業生の大学生や地域の方が授業支援としてお手伝いに入っています。

お世話になっている学習支援ボランティアの方に聞きました

Q1ー富士見丘中学校の印象は？
Q2ー中学生に伝えたいこと



A1 個性豊かで軸のある生徒が多い
A2 Time waits for no one. 今を大切に
S. M (数学)

A1 先生と生徒の距離が近く、個性豊かな学校
A2 今しかできないことに思い切って挑戦しよう
K. M (数学)

A1 みんな、やる気スイッチを持っている
A2 失敗してもいいから何事にも挑戦してください!!
H. N (数学)

A1 周囲の環境に恵まれていて、楽しい中学生生活が送れそう
A2 未来の大きな可能性に向けて、よく学び、よく遊べ
M. K (英語)

A1 元気で明るい学校
A2 何事も精一杯頑張ってください!
M. K (数学)

A1 生徒の反応が良い
A2 知識は身を助けます。頑張ってください
Y. M (英語)

A1 生徒と先生の距離が近い学校
A2 たくさんのことに楽しみながら挑戦してください
A. S (英語)

A1 個性豊かで元気!
A2 興味のあるものにはどんどんチャレンジして下さい!
M. H (英語)